

政策研究大学院大学教授
(前内閣特別顧問)

黒川 清氏

エコプロダクツ2008

東京で開かれた環境展示会「エコプロダクツ」(産業環境管理協会、日本経済新聞社主催)で政策研究大学院大学の黒川清教授が12月11日、基調講演した。歯に衣着せぬ物言いで、グローバル時代に日本が生き残るための課題やエネルギー問題を指摘した。



「食糧とエネルギーの準輸出国になろう」

ささどう生かすかが重要。与えられた自然の条件としては水、森、温泉...がある。もちろん地震という弱さもあるが、それらをどうしてエネルギーとして使わないのか。電力を棄物についてはみんな神経質になる。事故は今の技術では起らないと言われるが、絶対にないとは言えない。他国に対し技術導入することはあっても、日本には原子力を

メーカだろう。こうした問題はアルミサッシにもあり、先進国で一番多く使っているのは日本だろう。断熱を進めよう。えで熱を通しやすいアルミを窓に用いるのはばかげている。

なれば2030年までに達成できるのではないか。そのためには10年計画を立て各5年ごとのミッションをあげてロードマップをつくる。それを常に皆で評価する。計画を立てるのは役所でもシンクタンクでもいいが、将来の絵を描くのだから45歳以上の人は参加しないでほしい(笑)。

日本のモノづくりは垂直型に終始している。1日に携帯電話は300万個売れているが、そのうち40%はノキア製。モトローラ、サムスンと続き、4位のように日本はソニーエリクソンが入る。が最近、韓国LGに抜かれ、モノづくり立国といってもぜんぜん売れないのが実情。とはいえ部品の65%はメイド・イン・ジャパン。質が

いいから。部品で生きていこうとするならインテルみたくならないとためたろう。日本は2次、3次、4次の下請けをせっせとやっているが、物語のつくり方、創造力、世界観が欠如しているのではないか。

■使える技術はいくらでも

エネルギー問題でも日本の強

例に挙げると、火力65%、水力10%、原子力25%のままでもいいのか。やはり日本はやるなっと思わせる国にしたいと思いませんか？

原子力はこれからも一時的にはいいと思うが、アメリカのような大きな国でもその廃棄物を捨てるための法案がなかなか通らない。そのくらい歴

使わなくては技術がまだい

使うなら塩ビや木だろう。これもアルミ業界が反対しているだけ。世界は変わってるんだから、遅れをとるようなことはやめた方がいい。

■将来の絵、描くのは若手に

食糧とクリーンエネルギーの準輸出国になろうという目標を私はもっているが、その気に

続かない。環境はものすごく変わった。日本は相変わらず人の後に続かない。